

議員 今後の自然災害に対する十分な防災対策が急務です。市民の安心・安全な生活と、生命を確保するための防災力向上策を伺います。①防災行政無線の聞こえにくい地域の解消法は。また、災害時の対応は十分か。②携帯用防災無線機器を高性能小型タイプに変更しては。③耐震診断が必要な住宅の診断費用の助成はできないか。④集中豪雨や台風被害の避難に役立つ、ハザードマップの作成は。

「備えは大丈夫？」 災害時の防災力向上策は

手塚 静枝 議員

総務部長 ①文言が聞き取りづらい場合は、テレホンサービスで確認願います。非常時には音量を調整し、広報車等を最大利用して正確な情報を伝えます。②予算や周波数の関係もあり、今後の研究・検討とします。③安全なまちづくりを推進するために、耐震診断と改修工事の助成制度を実施します。④平成17年度中には、洪水・地震ハザードマップを作成します。⑤市では毎年、防災講習会や講演会を実施しています。被災地からの講師等による、防災セミナーは今後の検討とします。



▲災害時は防災行政無線で情報を

弱者への思いやりと支援を

⑤防災・減災への意識啓発として、被災地等の教訓を活かす、防災セミナーの開催は。

議員 ①市内の店舗や駅等に、高齢者や障害者が使用する三輪自転車、シニアカー等の駐輪スペースが確保できるような働きかけていくことや、「思いやりシール」を作り、弱者への支援が必要と思います。②体の内部に障害のある内部障害者は、障害が外見からわからないため、様々な誤解を受けています。多くの人に理解を得るために、広報等を通じて、温かい支援をすべきだと思います。

福祉部長 ①②ノーマライゼーション社会の実現に向けて、市民や事業者が思いやりを持って接していただけるよう、機会あることに広報等で啓発を図っていきます。

児童遊園地の公衆トイレを 水洗化に

榎本 守明 議員

ついて、どのように考えていますか伺います。

都市整備部長 沖内児童遊園地のトイレの水洗化については、新曽中央地区のまちづくりに関連があります。早期実現に向け検討し



▲沖内児童遊園地内のトイレも水洗化で清潔に

都市整備部長 浄化槽を利用して水洗化を図ることや、沖内会館の浄化槽を利用し水洗化することについて、技術的に検討いたします。

ていきます。

議員 新曽中央地区の公共下水道の整備については、まちづくりとの関連上、まだ相当の年月がかかると考えられますので、沖内児童遊園地については浄化槽を利用し、水洗化できないでしょうか。また、行政改革の一環としてトイレ、民間で管理をしている沖内会館と行政とがタイアップをし、水洗化に係る費用を安くするために、隣接している沖内会館管理の浄化槽に児童遊園地内の公衆トイレの汚水を流し、早期に水洗化を図ることができないか改めて伺います。

一般質問

中高生の居場所 確保へ向けて

花井 伸子 議員



▲新曽小学校で行われた戸田あそびの森

り調査の実施と、青少年の参画、設置場所として、戸田公園駅JR住宅跡地の利用はどうかと考えますが。

教育長 聞き取り調査は実施します。居場所づくりの実施には、青少年のワークシヨップ等を実施する考えがありますが、まず、種の確保が必要であり、戸田公園駅JR住宅跡地の暫定利用に手を挙げています。

介護保険制度の充実を

議員 平成17年度の介護保険制度の見直しに当たって

の今後の計画は。聞き取り

は、地域に密着した小規模・多機能型施設整備とサービスの充実と同時に、低所得者対策をしっかりと行うべきと考えますが。

福祉部長 既存のサービスの機能拡大や、多様な形態を検討するとともに、平成18年度からの「第3期戸田市高齢者保健福祉計画・介護保険福祉計画」において、高齢者等の住み慣れた地域での生活を支えるため、更なる充実を図っていききたいと考えています。

図書館南交差点信号機に車両感知機の設置を

議員 北大通り、図書館南交差点では、事故やトラブルが絶えず、長年、改善の要望が出ています。押しボタン式信号機に車両感知器を設置し、信号が作動するように早急な改善を求めます。

市民生活部長 歩行者の安全確保から、南北の道路に車両感知器を設置できるように、蔵警察署に強く要望していきます。

議員 平成17年度の「戸田あそびの森」の充実の見通しは。

教育長 東小学校に続き、喜沢小学校、美女木小学校、新曽小学校でも実施します。

議員 中高生の居場所づく

議員 小児救急医療の充実を望む声が強くなります。小児救急に焦点を当てた実態調査と課題整理を行うことはどうでしょうか。

医療保健センター事務長 今後、基本計画策定の中で検討していきますが、外来の初期救急は、現在センター常勤の小児科医師3名で対応できる範囲で担っていきたく考えています。

乳幼児医療費の窓口無料化

議員 検討結果はまとめられましたか。実施はいつになりますか。

市長 国の補助金削減、医療費の増大、健康保険組合の付加給付などの課題があります。平成17年度中には方向性を出します。

バイパスの騒音対策を

議員 防音壁の設置を国に要請してください。

市民生活部長 これまでも「要請限度」を超えた箇所には対策を要望しており、引き続き行っていきます。

そこがきたい

小児救急医療の充実へ 実態調査と課題整理を

岡寄 郁子 議員



▲小さなお子さんは健康が一番（乳幼児健診）

議員 小児救急医療の充実を望む声が強くなります。小児救急に焦点を当てた実態調査と課題整理を行うことはどうでしょうか。

医療保健センター事務長 本市にとって、重要な課題と認識していま

す。夜間の小児救急は多くが軽度の患者であり、夜間の急患を減らすために、医療保健センターでは診療時間の延長を行ってきました。さらに平成17年度は、土曜日午後の診療を行うなどの充実を図ります。また、保健所に設置された救急医療対策の協議会で、実態把握や県との調整も行っていきます。

議員 医療保健センターの建て替えに当たり、小児科の救急医療体制を整備するべきではないでしょうか。

※1：ハザードマップ＝大雨により河川等が増水し水があふれた場合、予想される浸水範囲や程度、避難所等を示した地図
※2：戸田あそびの森＝学校の教室等で活動できる居場所を設け、地域の指導員が放課後や週末にスポーツや文化活動を実施